

# 造るを創る

製造技術の可能性を生み出す Ours creation for yours production.

ごあいさつ

# 柔軟な対応力と、確かな設計力で、 “ものづくり”をお手伝いします。

『株式会社KSSテクノロジー』の仕事は、製造機械設備の企画・設計・製作、あるいは、既存製造機械設備の改造をお手伝いし、製造のパフォーマンスを高めることですが、それは、 “ものづくり”に携わる人びとが、より快適に働く現場を創ることでもあります。大切なのは、「人」であり、「現場」です。

私たちは、「人」と「現場」を大切にすることを、まず自社から実践しようと心がけています。スタッフ一人ひとりの個性を尊重し、可能性に期待し、“人材”を“人財”に育成します。働き方改革を推進し、スタッフ当人はもとより、その家族全員が幸せを感じることのできる職場づくりを目指します。つねに地域や社会全体に目を向け、積極的、かつ持続的な貢献を心がけます。それらの成果が、仕事へのモチベーション向上に繋がると信じています。

私たちが目指すのは、すべてのお客様の、あらゆるニーズに対して、柔軟な対応力と、確かな設計力でお応えできるプロフェッショナル集団です。そして、それを実現するのは、「人」であり、「現場」です。

末永く、ご指導ご鞭撻くださいますよう、お願ひいたします。



株式会社KSSテクノロジー

代表取締役

関 口 聰 Satoru Sekiguchi

## [会社概要]

社 名 / 株式会社KSSテクノロジー

KSS TECHNOLOGY CORPORATION

代 表 者 / 代表取締役 関口 聰

創 業 / 2004(平成16)年 11月

設 立 / 2013(平成25)年 11月

資 本 金 / 300万円

本 社・工 場 / 〒979-0204 福島県いわき市四倉町細谷字北江添104-1

TEL.0246-34-6170 FAX.0246-84-7873

日立営業所 / 〒319-1411 茨城県日立市川尻町6-45-26 二光ビル 3F-B

TEL.0294-32-5770 FAX.0294-32-5780

従 業 員 / 機械設計:4名、電気設計・ソフト:3名、組立・調整:3名、加工:1名・

経理:2名 (外注:配線:2名、電気設計・ソフト:1名)

事 業 内 容 / ●開発的要素のある機械設備の設計・製作

●新規機械設備の設計・製作

●既存機械設備の改造・メンテナンス



設計室(本社)



事務所(本社)



設計室(日立営業所)



マシニングセンター

# 斬新な着想、高精度な図面と製作技術で、 さまざまな分野の製造に貢献します。

## 事業内容

## Description of Business

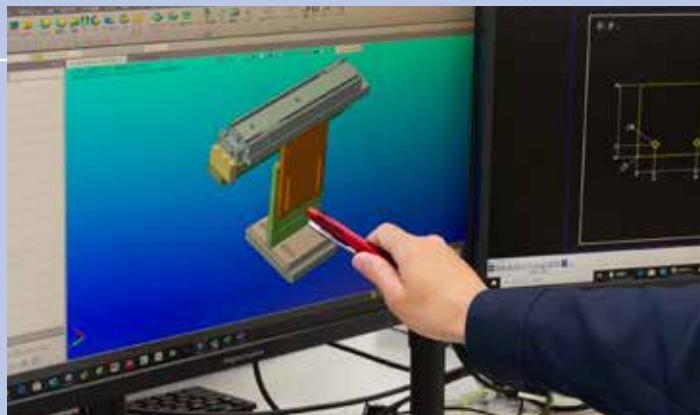
新しい商品を生み出すとき、その商品をつくる機械設備が必要になります。どんなに画期的なアイディアも、効率よく、安全に、安定して、適正なコストでつくられなくては、商品として世に出ることはできません。画期的な商品の誕生は、多くの場合、画期的な製造機械設備の誕生でもあるようです。『KSSテクノロジー』は、斬新な着想の設計を、高精度な図面と製作技術で具現化し、さまざまな分野の製造に対して、品質、コスト、納期に関する優位性だけでなく、環境に対する負荷の軽減を積極的にご提案させていただきます。

開発

## Development

### 開発的要素のある 機械設備の企画・設計・製作

新しい商品のアイディアがあっても、そのアイディアの商品化を可能にする製造機械設備がなければ、アイディアはアイディアのままで終わります。『KSSテクノロジー』に、アイディアを商品というカタチにすることをお手伝いをさせてください。企画から、設計、製作まで、『KSSテクノロジー』ならではの“一気通貫”態勢で、商品化を加速させます。



新規

## Establishment

### 新設機械設備の設計・製作

製造工場の新設、あるいは製造機械設備の増設をお手伝いします。QCD(Quality:品質、Cost:価格、Delivery:納期)のバランスに加えて、環境に対する負荷軽減に配慮し、工場、あるいは製造機械設備を取り巻く条件に最適な、コスト・パフォーマンスの高い設計プランをご提案させていただきます。



既存

## Improvement

### 既存機械設備の 改造・メンテナンス

福島県内を中心に、業種を問わず、既存の製造機械設備の改造、およびメンテナンスを行っています。『KSSテクノロジー』の設計、あるいは製作ではない製造機械設備のメンテナンスや改造についても、可能な限り対応させていただきます。



# 企画・設計から、製作、搬入・設置、さらには

## 仕事の流れ

クライアント様のニーズを具現化する「発想」のご提案から、『KSSテクノロジー』の仕事が始まります。

そして、その製造機械設備の機構・構造・材料・機械要素(部品)を考える「設計」があり、それを実際につくるための「製図」があります。次に、必要に応じて「試作」を行い、「性能評価」を経て、実機を「製作」し、さらに「性能評価」を行います。

完成した製造機械設備を搬入・設置し、改めて「性能評価」を実施。引き続き6ヶ月～1年程度、継続的に安定して「仕様を満たす」かどうかを確認して、とりあえず『KSSテクノロジー』の仕事が終わります。しかし、その後も、つねに最良のコンディションで稼働するよう、サポートを続けます。

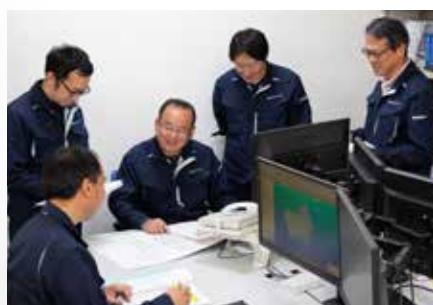
### ①打ち合わせ

#### Meeting

設計とは、企画に基づいて決定された「仕様を満たす」機構・構造・材料・機械要素などを検討・決定し、それを図面にして具体化する作業です。しかし、必ずしも「仕様を満たす」というハードルをたやすく越えられるとは限りません。ハードルが高ければ高いほど、設計・製造に関わる全員に、確固としたコンセンサスが不可欠です。そのためには、設計に取りかかる前に、忌憚のない意見交換と、決定事項の入念な確認が必要です。企画に戻って再検討しなければならない場合もあるでしょう。



「仕様を満たす」ための機構・構造・材料・機械要素などの選択・決定には、さまざまなアプローチがあります。既存のものを採用するのが最も合理的な場合もあれば、それでは求められる「仕様を満たせない」懸念があるケースもあります。



予算や納期という限られた条件のなかで、いかにして求められる「仕様を満たす」か?——さまざまな課題が予想されますが、まずは、ミーティングの段階で、妥協しないことです。『KSSテクノロジー』は、決して安易な見切り発車はしません。

### ②設計・製図

#### Design

#### ①概念・構想設計

「仕様を満たす」には、どういう構造で、どのような機構が必要か?——というコンセプトを明確にします。すでに使われている原理を用いたり、まったく新しい仕組みを考案したり、両者の組み合わせを検討したりします。

#### ②基本設計

概念・構想設計に基づいて、求められる「仕様を満たす」には、「どのような形状で、どのような材料を使えばよいか?」、「どのような機能の機械要素が、どの箇所に必要か?」などを検討します。

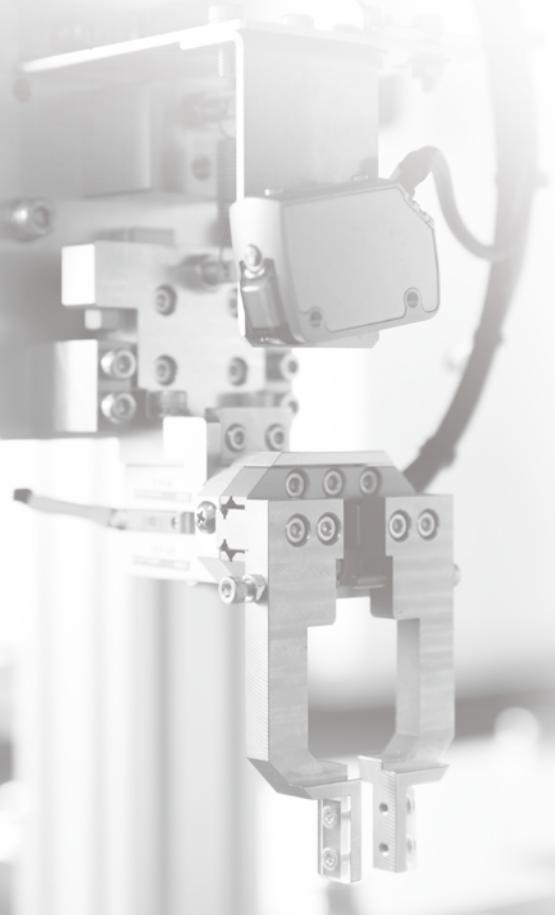


#### ③詳細設計

基本設計をもとに、さらに詳細な形状・構造・寸法などを決定します。必要な機械要素の種類と個数が明確になり、製作図面を作成し、場合によっては試作機を造り、調整を繰り返します。

#### ④生産設計

シミュレーションを実施し、「仕様を満たす」性能が得られるかどうかを確認し、生産効率に重点をおいた設計図を作成します。



# メンテナンスまでをトータルに行います。

## Flow of Works

### ③ 製作

#### Making

生産の効率化に重きをおく生産設計では、どのように製作すれば、性能にバラつきがなく、効率よく生産できるかを考えます。既存の製造機械設備をそのまま、もしくは一部を改造して利用することも検討します。さらには、加工工程を短縮するために、構造を修正する場合もあります。



詳細設計で想定していた機械要素や、材料、加工法とは異なる設計に変更するケースもあります。とくに量産では、機械要素1個のコストが、掛ける生産数になり、製品全体のコストを少なからず左右するので、0.1円の単位でのコスト削減を図ることもあります。

生産設計における変更は、フォア・ザ・クライアント——性能や耐久性を損なうことなく、コスト・パフォーマンスの高い機械設備を提供するためです。



『KSSテクノロジー』は、製造にあたって、つねにQCD(Quality:品質、Cost:価格、Delivery:納期)のバランスを心がけています。当然のことながら、それは、『KSSテクノロジー』スタッフ全員の設計思想でもあります。



### ④ 調整

#### Adjustment

詳細設計に基づいて作成された製作図面によってつくった実機が「仕様を満たす」かどうかの確認、すなわち性能評価を行います。



もし「仕様を満たす」ことができていなければ、その原因を突き止め、調整を行います。調整のレベルで解決しない場合は、基本設計まで遡って、設計を練り直します。場合によっては、概念・構想設計まで遡ることもあります。多くの場合、1回の設計変更で「仕様を満たす」ことはありません。設計変更⇒確認の調整ルーチンを複数回繰り返します。



仕様のすべてをクリアすると、機械設備の構造・機構・材料・機械要素が決まります。それを設計書と図面にまとめ、機械設計はひとまず完了になりますが、調整ルーチンは、実際の生産でも必要不可欠な作業です。前述したように、QCDの観点から、機械要素、材料、加工法などを変更する場合があり、そのつど、設計変更⇒確認の調整ルーチンを行います。

### ⑤ 搬入・設置

#### Installation

製造機械設備の設計は、クライアント様の工場へ搬入し、設置し、稼働させ、調整し、再度「仕様を満たす」かどうかを確認するまでが仕事です。設計だけ、製造だけという会社も少なくありませんが、『KSSテクノロジー』の強みは、企画・設計から、製作、搬入・設置、さらにはメンテナンスまでを一貫して行うところです。



搬入・設置は、『KSSテクノロジー』の担当スタッフが行うか、長年お手伝いいただいている精密機械運搬の経験豊富な運送会社に依頼し、担当スタッフが同行します。

納入した製造機械設備は、継続的に「仕様を満たす」ことが確認できるまで(6ヶ月～1年間程度)、ソフトで解消するトラブルについては、原則として無償で対応します。



当初の仕様書とは異なる動作への変更や、変更に伴う機械要素の購入、交換・調整作業については、実費+αで承ります。

『KSSテクノロジー』の設計、あるいは製作ではない製造機械設備のメンテナンスや改良についても、可能なかぎり対応させていただきます。



#### 本社・工場

〒979-0204 福島県いわき市四倉町細谷字北江添104-1  
TEL.0246-34-6170 FAX.0246-84-7873



#### 日立営業所

〒319-1411 茨城県日立市川尻町6-45-26 二光ビル3F-B  
TEL.0294-32-5770 FAX.0294-32-5780



### 株式会社 KSSテクノロジー

製造機械の設計・製作・施工・ソフト開発・機械加工